「ミュージカル落語」とは？

2004年に三遊亭究斗（当時は三遊亭亜郎）が、自らの経歴を生かして創作した、ミュージカルと落語を融合した落語の新しい表現方法である。

ピアノやチェロといったアコースティック音楽の伴奏を付け、噺の中で歌ったり、バックミュージックとして取り入れたりしながら、古今東西の名作や偉人伝を“語り歌う”エンターテインメント。

笑いあり、涙ありとエンターテインメント性が高く、従来の落語ファン以外の層からも注目を集めており、小中高等学校の芸術鑑賞会等でも数多く公演されている。

2014年、第69回文化庁芸術祭参加公演・参加作品として、「ミュージカル落語『レ・ミゼラブル』withオーケストラ」が承認された。

三遊亭 究斗（さんゆうてい きゅうと）

（落語家・ミュージカル俳優）

1963年生まれ。香川県出身。1988年劇団四季入団。在団10年間に数多くのミュージカル、ストレートプレイに出演。ロンドン・中国・シンガポール等の海外公演にも参加。1997年落語家に転身。師匠は三遊亭円丈。2004年より『ミュージカル落語』を新開拓。2011年より「教育が一番！」を掲げ、講演活動に力をいれる。教育と娯楽を合わせたエデュテイメントが評判となり、特に平成23年度文化庁芸術祭参加作品に選考された「一口弁当」が人気を集めている。イジメ撲滅の願いを込めた「笑い」と「涙」に溢れた感動的な作品。2014年 NHK「おはよう日本」でイジメ撲滅に取り組む姿が特集される。平成26年度文化庁芸術祭参加公演では、オーケストラを率いて、かつしかシンフォーニーヒルズモーツァルトホールでミュージカル落語公演を開催し、大成功を収める。2020年12月初の著作「いじめられてしんどい君へ」（プレジデント社）が発売される。俳優・タレントとしても活躍する新進気鋭の落語家。

松尾 美保（まつおみほ）

（ピアノ）

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。四天王寺高等学校在学中より「Duo-Scherzo」を結成し「連弾」、「2台のピアノ」アンサンブルに取り組む。

文化庁「芸術家の派遣事業」の講師として、教育機関での演奏活動。子育て支援コンサート、福祉施設訪問コンサート、チャリティーコンサート、等の演奏活動も行う。国際ピアノデュオ協会会員。

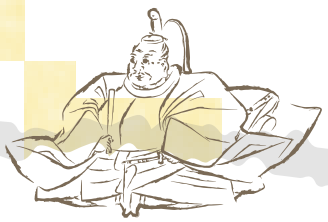
静岡市歴史博物館

静岡市歴史博物館は、歴史探求と体験、交流を融合した新たなスタイルの博物館です。研究成果の発信だけでなく、歴史観光の拠点として、静岡市の観光の出発点として、人々が集うことのできる場所を目指しています。

開館時間：9:00～18:00

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

TEL：054-204-1005



静岡市民文化会館　☎054-251-3751

〒420-0856　静岡市葵区駿府町２番90号

◆ 営業時間 9:00 ～ 21:30

◆ 月曜休館（月曜が祝日の場合は翌日休館）

＜アクセス＞

◎ ＪＲ静岡駅北口から徒歩25分／静岡鉄道新静岡駅から徒歩10分

◎ 静岡駅北口バスターミナル（5番または6番乗り場）から乗車し、「市民文化会館入口」バス停で下車（約10分）

◎ 静岡駅北口よりタクシーにて約10分